

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-5 生活衛生の充実
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	自然環境課長 森脇 幸	電話番号	0852-22-5346
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	温泉源の保護と適正活用事業		
目的	(1) 対象	温泉利用者（泉源開発者、泉源利用者、温泉利用者）	
	(2) 意図	温泉を適正に利用してもらう	
事業概要	温泉を適正に利用するため、泉源開発者等に対し、法に基づく許可、監視、指導等を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 法令遵守率	目標値		95.0	95.0	95.0	95.0	%
		取組目標値						
	式・定義 (監視施設数－指導施設数) / 監視施設数 × 100	実績値	71.2	95.6				
		達成率	-	100.7	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	246	452
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

温泉の掘削、増施及び動力装置について、島根県自然環境保全審議会に諮問した（2案件）。  
温泉利用施設90施設（延べ）に立入検査を実施し、4施設に対して温泉台帳内容の修正に係る施設変更届や硫化水素の危険性等について指導を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内の温泉利用施設の管理棟が適正であるか確認され、不適正である場合には指導によって改善が図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
未利用の泉源は状況が把握しにくい。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
未利用の泉源は法令に基づく手続きがなされる機会がない。
- ③原因を解消するための「課題」  
未利用の泉源所有者が死亡する等の理由で、適切に管理者が不在となる場合があり得る。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

未利用の泉源についても、確認に努める。